

理事長コラム

「こっからの小島江梨さんの
快挙をたたえる」

生活介護 こっから《パン工房》

「パン工房へようこそ……」

こっから祭報告

就労移行支援 すたあと

「施設外就労」

就労継続B型 ここに

「最近の出来事から」

居宅支援

「かたつむり4周年」

相談支援事業

「相談支援センターが立ち上がりました」

新商品紹介

「にこにこドーナツ」

「第15回絵本ギャラリー」で
紙漉き体験のワークショップを開催。

Topix

編集後記



こっからの小島江梨さんの快挙をたたえる

— インチョン2014アジアパラ競技大会に出場し、水泳3種目を力泳 —

社会福祉法人こぶしの会 理事長 藤井 正紀

こっからの紙漉き班に所属している小島江梨さんがまたまた快挙をあげられました。

「またまた」というのは、小島江梨さんの水泳の実力は素晴らしく、これまでに多くの大会に出場し優勝や入賞をされています。特に昨年（2013年8月）はニューカレドニアで開催された知的障害者の国際的な水泳大会に参加し4つのメダルを獲得され、こっからでも披露してくれました。また県庁への表敬訪問では、前田副知事さんからも褒めてもらいました。その時の江梨さんの、ほこらしい顔や姿に、お母さんや私まで感激させられました。そんな有名選手の江梨さんですが、今回の「インチョン2014アジアパラ競技大会」への出場は、昨年以上の快挙といってもいいと思います。

アジア競技大会は「アジア版オリンピック」と呼ばれていて、今年は韓国のインチョンで開催されました。その障害者版が「アジアパラ競技大会」で、10月18日から24日まで開かれました。日本からは障害のある291人の選手を含む484人の選手団が参加しました。水泳種目では40人の選手（知的障害者選手は12人）が参加しました。奈良県からは8人の選手が参加しましたが、江梨さんだけが知的障害で参加しました。奈良県選手の内2人が3種目で銅メダル（柔道・水泳2種目）を獲得されたようです。「アジアパラ競技大会」の選手の中には、知的障害の人も参加されていますが、その中で、江梨さんが、堂々と選手に選ばれ自分の力出し切ったことは大変な名誉なことです。

江梨さんのがんばりを心から祝福したいと思います。小島江梨さん！ 本当におめでとう！ おめでとう！

お母さんの話によりますと、江梨さんは得意の

バタフライにはエントリーされませんでした。自由形と平泳ぎと個人メドレーの3種目に出場したそうです。3種目ともメダルには届きませんでしたが、メドレーでは自己ベストで泳ぎ切ったようです。

また江梨さんは選手村に入り、生まれて初めて1週間も親と離れて生活をされたようで、お母さんにとってはこれにも驚き、感動したと言っておられました。

江梨さんは自分から、「オリンピックに出場した」と言う人ではなく飄々（ひょうひょう）となんでもなかったかのように振る舞っておられますが、内心はうれしいに違いありません。こぶしの会やこっからにとっても大変名誉なことです。私達関係者も江梨さんの喜びのおすそ分けをしてもらい、大いに自慢し、励まし合っていきたいものです。



パン工房へようこそ……

今年6月よりパワーアップしたパン工房。

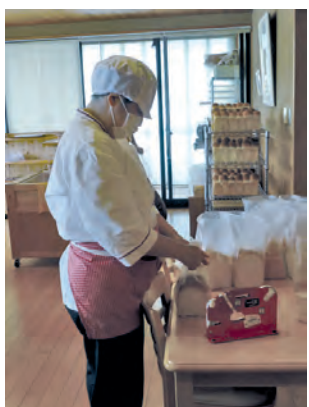
製造を中心に関わる6名の仲間とパンの袋詰め・配達準備や販売、焼き菓子作りを中心に関わる4名の仲間と5名の職員で日々仕事をしています。



パンのお部屋（旧喫茶）では、焼きあがったパンを冷まし、袋詰めし配達先ごとに仕分けする作業を行っています。

最初は新しい仕事に戸惑いもありましたが仲間同士の協力もあり、今ではスムーズに作業を行っています。

9月よりクッキー製造の仕事も再開しました。



パン製造のお仕事は、仕込から焼き上げまで仲間中心におこなっています。
ベテラン!? の風格が漂う1枚です⇒
一人一人が責任をもって担当の仕事に取り組んでいます。1日平均80斤ほどの食パンと100～130個ほどの菓子パンを製造しています。

今年からは配達にも参加しています。



7月・8月はパン工房全員でランチを食べにきました。

行き先は、みんなで相談して決めています。

月に1回はみんなでお出かけなどの余暇活動を設けたいと思います。

そのほかにも週に1度は余暇時間を設け、楽しくみんなでコミュニケーションをはかれる時間を大切にしていきたいと思っています。

施設外就労



すたあとでは、新たに天理の会社で、球根を袋に詰める作業を始めました。

大きな倉庫の中、たくさんの種類の球根を決められた重さを量ったり、数を数えたりして、袋に詰めて花の写真がかかれた紙をホッチキスでとめています。

様々な形の球根が、このような花を咲かせるのかと想像しながらの作業はとても楽しいです。

先日は、休憩時間に「桃尾の滝」に弁当を持って食べに行ったりもしました。

さて、8月下旬から女性の仲間が、「ファッションセンターしまむら」で働き始めています。会社の制服を着て、店内の掃除や入荷された服などを並べたりしています。あいさつの練習をしたり、専門用語を覚えたりと学ぶことがたくさんありますが、メモを一生懸命とりながら仕事をしています。慣れるまでは大変だと思いますが、楽しんで仕事をつづけてほしいと思います。

(島 耕治)

最近の出来事から



早いもので、今年6月でここにも開所から3年が経ちました。6月からは新しい仲間が1名増え、現在9名の仲間が在籍しています。職員も7月末から1名増え、昼食を食べるスペースやお茶碗が不足することもしてきました。

3年前に仲間2名、職員2名で開所した時から見れば、とても賑やかになりました。

ということで、恒例の開所記念外出に今年も出かけました。今回は仲間の方からの提案で、インド料理店に行っのランチ。とても気前のいいインド人店員さんのサービスに感動で胸いっぱい、たくさんの料理でお腹いっぱい帰って来ました。

さて季節は夏となり、ここに市にも夏野菜がいっぱい並んでいた頃、いつもお野菜をご提供くださる農家さんからスイカを2玉いただきました。これはもうスイカ割りをするしかないとのことで、すたあとと合同でスイカ割り大会を開催。予定ではすたあとの裏庭で盛大に割ろうと思っていたら、当日は雨…。仕方なくここにの和室に場所を変え、棒も新聞紙で丸めたものに変えました。さすがにこれではスイカは割れませんが、楽しいひと時を皆で楽しみました。

(新谷 和博)

6月で4周年を迎えたかたつむり。記念イベントが開催されました。焼き鳥、とうもろこしにフランクフルト☆なんだかお祭り気分です。サラダやお惣菜もイロイロ…そしてメインイベントは流しそうめん!! 途中、水が溢れるというハプニングもありましたが、そこはご愛嬌。ワイワイと盛り上がりました。

満腹になった後は、クイズコーナーやスタッフによるダンス披露、しっぽ取りゲームやスイカ割りなどなど。おいに食べて動いて、笑った1日となりました。

かたつむり4周年



こぶしの会相談支援センターが立ち上がりました

9月に、こぶしの会相談支援センターが立ち上がりました。今までもふゅーちゃーを通じてサービス利用の相談が行われてきましたが、仲間、家族の高齢化や、地域生活への様々なニーズが増え、深化し、「相談支援」の質的拡充が求められています。また、制度改正によって、すべての利用者に「サービス等利用計画」が義務付けられ、その作成のための体制を確保することが必要となってきたことも、相談支援センター開設の理由です。

本来、相談支援は、「こんな暮らしをしたい」「こんな自分になりたい」願いを出発点に、その人にとって必要な事業を起こし、それに見合う制度をつくり、社会を変えていく最初の入り口。ネットワーク、自分づくりのチームをじっくり地域に築いていく営みであると思います。しかし、国は2014年度末までに全国66万人もの計画相談を行うとし、相談支援専門員の圧倒的不足や地域間格差の問題など解決できないまますすめているのが現状です。なぜ、ここまで急ぐのか。2015年度の介護保険制度改正に合わせて、統合の仕組みづくりにこそ、その狙いがあると感じます。……そんな矛盾の中にあっても、本人や、家族との面談は新鮮な発見があり、楽しくて仕方ありません。一緒に考え合う中で、ちょっと頑張って挑戦してみようか、もうちょっと将来のことに向きあってみようか、という気持ちを後押しできる瞬間があります。まだまだ、計画作成でいっぱいといった実情ですが、相談支援の本質、原点を見失わず仲間たちの「願い」に耳を傾けていきたいと思います。

こぶしの会相談支援センター 小針 康子

新商品紹介

にこにこドーナツ



とうふ工房では、新商品「**にこにこドーナツ**」の販売をはじめました。
 こっからのとうふをふんだんに使い、今までのふんわりとしたドーナツと違いしっかりと生地になっています。
 パッケージは、版画家の尾黒さんをお願いしてとうふ工房のみんなをあらわしてもらい、かわいく仕上げてもらいました。
 チョコ・クランベリー・プレーンの3種類が入って1袋250円です。
 こっからの販売コーナーや配達も行っています。みなさん是非お買い求めください。

「第15回絵本ギャラリー」で 紙漉き体験のワークショップを開催しました。



昨年の「やなせたかしの世界展」でご協力をいただいた奈良市中央図書館さんとのご縁から、8月2日と3日にならまちセンターで開催された「第15回絵本ギャラリー」に参加させていただきました。毎年3,000名を超える来場者が集まる大きなイベントで、こっからは2日のみの参加でしたが、紙漉き班が会場へ出張し、牛乳パックの手漉き和紙づくり体験のワークショップを行いました。

当日は朝から降り続いた雨の影響が心配でしたが、予想に反して体験を希望してくれる子ども達が次から次へと来てくれて大盛況の一日となりました。

そして、子ども達の笑顔や真剣な眼差しに紙漉きの、ものづくりの、手づくりの楽しさを私たちがの方が、改めて教えてもらった…そんな一日ともなりました。

たくさんのご来場、
ありがとうございました

第13回

障害者支援事業所
コミュニティワーク

こっから

祭



今年も来場者約800名、主催関係者200名により1000名を超える方々にご来場、ご協力いただきました。予定通り?の天候ではありましたが、今回もたくさんの方の笑顔に出会えたことを心より感謝申し上げます。

また開催にあたりましては、テントや机等の備品、駐車場、バザー用品のご提供、当日の要員ボランティアなど今回も東市地区をはじめとする多くの方々にご協力をいただきました。そして100を超える企業や個人の皆様からもご協賛いただきました。終了後のご挨拶回りでは「今年も楽しかったよ」「祭りも地域に定着してきたね」「パンがおいしかったからまた買いに行くよ」とうれしい言葉をたくさんかけて下さいました。

これら全て、これまでの、又これからの私たちの活動への励ましと受け止め、より一層地域福祉の発展のために努力していきます。ありがとうございました。

7月

とうふ工房の新しい作業着が完成しました。



8月

風景写真協会奈良第一支部様より
今年も作品を寄贈していただきました。



とみなん九条の会の皆さんをお招きし
「平和の集い」を開催しました。



9月

活動班が鹿せんべいの
お仕事を始めました。



奈良市防災センターで
防災体験をしてきました。



10月

クリーンコミュニティで地域の方々と
近隣公園の清掃活動を行いました。



11月

伊藤多喜雄さんのライブが
ミツから行われました。



談山神社に紅葉を
見に行きました。



仲間自治会から
旅行委員会が結成されて
日帰り旅行の
企画が話し合われました。



編集後記

今年もこっから祭が無事終了しました。数ヶ月かけて準備したイベント成功の喜びはもちろんですが、それ以上に嬉しい出来事がたくさんありました。ある地域の方からは、みんなが楽しみにしているからと、こっから祭の日程を優先して自治会の行事日程を考えてと話して下さいました。近隣小学校の校長先生からは地域のお祭りを調べるという授業で、生徒がこっか

ら祭について教えて欲しいと校長室に聞きに来たと電話をいただきました。毎年一回、このお祭りで昔のお友達に会うんです…そんな声も聞きました。

みんなが（仲間が）楽しいこと、やりたいと思えることをやっていたら、実はそれが地域のためにもなっていた…そんな風にこれからも歩んでいければと思います。（古木 一夫）